

NEWS LETTER

エジプト・アラブ共和国
特別活動を中心とした
日本式教育モデル発展・普及プロジェクト



ニュースレター第3号

ニュースレター第3号では、5年目を迎えるエジプト日本学校について特集します。

日本では一般的な学校の設備や時間割も、エジプトでは普及しておらず、エジプト日本学校の特徴となっているものが、いくつかあります。

さらに、第3号では、エジプト日本学校の幼稚園の様子や、日本の小学校と行ったオンラインでの学校交流会の様子をご紹介します。

第3号の 主な記事

特集

エジプト日本学校

エジプト日本学校
幼稚園の様子

エジプト日本学校

10月から新たに、3校が加わりエジプト全土に51校が開校したエジプト日本学校。
5年目をスタートしたエジプト日本学校の特徴を改めてご紹介します。

エジプト日本学校のある日の1日

※学校や学年によって時間割は異なります

- 07:30-07:50 ★教員の朝の準備
- 07:50 児童登校時間
- 07:50-08:00 朝集会
- 08:00-08:10 ★朝自習
- 08:10-08:20 ★朝の会
- 08:20-09:40 1・2 時間目
- 09:40-11:00 3・4 時間目
- 11:00-11:45 休み時間(軽食を兼ねる)
★掃除
- 11:45-13:05 5・6時間目★5時間目 特別活動
- 13:05-14:25 7・8時間目
- 14:20-15:05 9時間目
- 幼稚園では13:40 -14:50に
★遊びを通じた学び
- 15:05-15:15 ★帰りの会
- 15:15 児童の下校
- 15:15-15:30 ★保護者のボランティアによる
不定期の課外活動
- ★職員会議、校内研修、授業準備など



★マークが、エジプト日本学校ならではの活動です。
朝の会や帰りの会、掃除や特別活動(1週間に1回、学級会などの学級活動を行います)、
日直など、様々な面で日本式教育を取り入れ、実施しています。

?? エジプトの公立学校と何が違うの ? 公立学校と比べてみました！

エジプト日本学校の特徴は、掃除や日直ではありません。子どもたちが学んでいる環境についてご紹介します。日本では馴染みがあるものも、エジプトでは、エジプト日本学校ならではのものです。

教室の中



掃除用具と掃除用具入れ

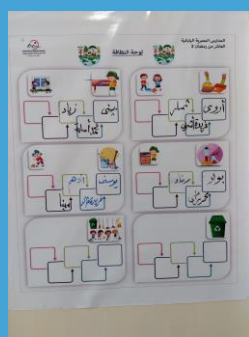


整理整頓できる棚



1人用の机と椅子

小学校は赤
幼稚園は青
の制服



掃除当番表などの
掲示物



1クラスの生徒(標準)

36人

廊下

手洗い場



石鹸が設置してあります。使いやすい高さになるよう、工夫されている学校もあります。

靴入れ



エジプトは外履きと、内履きを区別しない公立学校が多いです。

外

砂場&グラウンド



砂場は、エジプト日本学校ならではのです。エジプトではグラウンドが小さく運動できるスペースがない学校もあります。

エジプト日本学校 幼稚園での取り組み



エジプト日本学校には、幼稚園が併設されており、日本式の「遊びを通じた学び」が実施されています。

日本の学校教育では、自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し、解決する力を育てています。エジプト日本学校でもこの力を育てることを1つの目標としていますが、目標に向かう過程で、幼児は沢山の経験をしており、この経験こそが、幼児の成長に大きく結びつき、自らの考える力を培っていきます。

暗記教育が重んじられるエジプトにおいて、自ら考える力を身につける教育は、最初のエジプト日本学校が開校した2018年当初は馴染みのないものでした。また、結果こそ全てと考えがちなエジプトにおいて、経験の過程を見つめる教育への理解を得ることは簡単なことではありませんでした。

幼児期に育てて欲しい姿には、「健康な心と体」「自立心」「協同性」等がありますが、開校して4年が経った2022年の各エジプト日本学校では、これらを生活の中で遊びながら身につけることができるように、外で体を思う存分に動かして遊ぶ幼児たち、友だちと一緒に当番活動や片付けを行う幼児たち、自分でできることは自分でするように幼児を援助する教員たちの姿がありました。砂遊びが幼児の発達に効果的に作用することがエジプト日本学校の保護者へも浸透しはじめ、親子で砂場遊びを行っているエジプト日本学校もあります。このようにエジプト日本学校では、保護者との連携も強化しながら、幼児に様々な体験の機会を提供しており、幼児の健やかな成長を導くための努力がなされています。



体を動かす遊び



幼児自身でお片付け



親子で砂場遊び



日本の学校と オンラインでの学校交流会を実施しました



EGYPTIAN JAPANESE SCHOOLS
المدارس اليابانية المصرية



日本の学校に質問している様子



たくさん練習したリコーダー演奏



交流会の最後に手を振ることもたち

エジプト日本学校第10ラマダン市第2学校の4年生、5年生と愛知県一宮市立赤見小学校の3年生、6年生が、オンラインで学校交流会を行った様子をご紹介します。

11月から12月にかけて3回行ったオンラインでの学校交流会では、エジプトと日本の教室の紹介や身の回りで使っている持ち物の紹介、それぞれの学校での1日の紹介など、ビデオでの紹介を交えて行い、リアルタイムでの質問タイムはたくさんの質問が行き交いました。

また、音楽の先生とたくさん練習したリコーダー演奏と歌での音楽交流も行いました。

日本側からは、エジプトで今年度から本格的に導入が始まった委員会活動の紹介なども行われました。エジプトの子どもたちからは「体育館のかぎを開ける係やってみたい！」という声があがったり、登校時に代表委員会が元気にあいさつする様子が新鮮だったと感想が伝えられました。先生方も、日本で行っている委員会活動がイメージでき刺激になったようです。

交流会終了後には、エジプト日本学校の先生から、子どもたちが楽しんでよかった、また実施したいなど嬉しい感想をいただきました。

ニュースレター第3号いかがでしたか？今回は、エジプト日本学校の様子を中心にお届けしました。

エジプトの子どもたちが、どのような環境で学んでいるかを感じていただけたら幸いです。

次号では、パイロット校での取り組みなどの情報をお届けする予定です。

問い合わせ先

JICA技術協力プロジェクトチーム
holistic_edu@padeco.co.jp